

2. 指標設定

成果指標	指標名	受診率の向上		目標年度	H27	指標の設定理由					
	数値	50%				がん対策基本法に基づき国がH19年度からH23年度までの5年間を対象として目標に掲げていたが今回5年が経過し見直しを行った。新たにH28年度までの5年間を対象にがん対策の推進をはかるため					
活動指標	指標	a	アンケート実施		b	広報(市報)		c	電話による勧奨		d
	数値	目標	年1回		目標	年1回		目標	-		目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H23	H24	H25
受診率の向上	%	24.1 %	23.2 %	22.7 %
		48.2 %	46.4 %	45.4 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a アンケート実施	回	1回 100.0 %	1回 100.0 %	1回 100.0 %
b 広報(市報)	回	1回 100.0 %	1回 100.0 %	1回 100.0 %
c 電話による勧奨	件	257件	250件	379件
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
年々受診率が低下してきている。
対応(改善点等)
若年者の受診率が低い。はつらつ健診・女性対象のレディース健診・未受診者健診や未受診者の電話かけ等を行った。

5. 事業費・・・H23～H25(決算額)、H26(予算現額)

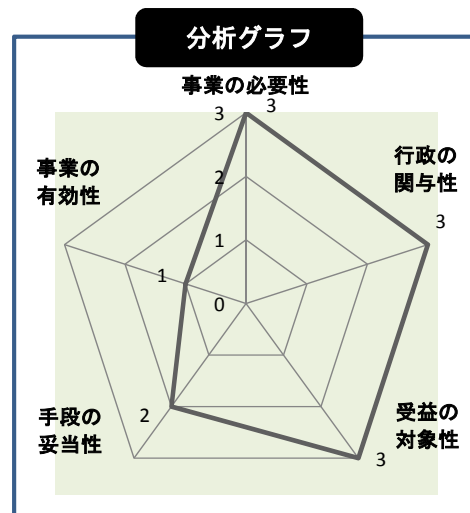
決算額(千円)		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		58,686	53,537	52,901	60,144
うち経常経費		58,556	53,537	52,901	60,144
財源内訳	国費	1,401	1,884	1,384	1,049
	県費	1,345	1,397	1,399	1,836
	市債				
	その他	130	35		
	一般財源	55,810	50,221	50,118	57,259
うち経常		55,810	50,221	50,118	57,259
事業費に係る人件費		9,460	18,034	17,522	17,254
事業費に係る人役		2.20	4.20	4.02	3.89

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
がん死亡は、全死亡の中でも依然トップの死因であることから、引き続き対策を講じる必要がある。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 豊後大野市の死因の第1位であるため、がんの死亡率を減少させることが必要。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 国のがん対策基本法の中で市の責務が位置づけられている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 18歳以上の市民。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 目標達成のため有効な手段と思われる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 受診率が目標に達していないため。



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	受診率の向上に努めること。